

# 令和5年度 第2回多治見市地域公共交通会議

## 議 事 要 旨

- ・開催日時：令和5年10月18日（水）9:30～11:30
- ・開催場所：多治見市役所本庁舎5階全員協議会室

### 《委員》

区分	所 属	氏 名	出 欠
会長	中部大学工学部教授	磯部 友彦	○
委員	(財)岐阜県バス協会専務理事	木村 治史	○ (代理：中嶋)
〃	東濃鉄道㈱営業本部運輸部長	加藤 博康	○
〃	コミタクモビリティサービス㈱代表取締役社長	林戸 達美	○ (代理：岩村)
〃	東鉄タクシー㈱取締役業務統括	藤田 明博	○
〃	東濃鉄道労働組合中央執行委員長	小倉 保二	○ (代理：稲城)
〃	多治見市区長会	水野 隆夫	○
〃	多治見市悠光クラブ連合会会長	加藤 孝春	○
〃	市民代表	諸星 洋子	○
〃	市民代表	中嶋 英雄	○
〃	岐阜運輸支局首席運輸企画専門官	山田 慎児	○
〃	多治見砂防国道事務所道路管理課長	伊藤 康浩	○
〃	岐阜県都市建築部都市公園・交通局公共交通課長	城戸脇 研一	○ (代理：玉木)
〃	岐阜県多治見土木事務所施設管理課長	亀山 鉄也	欠
〃	多治見警察署交通第一課長	中尾 学	○
〃	多治見市役所福祉部長	加藤 泰治	○
副会長	多治見市役所都市計画部長	知原 賢治	○

### 《事務局》

- ・多治見市都市計画部都市政策課：日比野課長、原課長代理、加藤総括主査、近藤主任

### 《事前配布資料》

- ・会議次第・委員名簿
- ・「活発で良い議論ができる会議のために。(国土交通省 中部運輸局)」
- ・「乗合事業に係る協議運賃の取扱いについて(国土交通省 中部運輸局)」
- ・資料1：自主運行バス（ききょうバス）中心市街地線のルートの運行経路の変更【協議事項】
- ・資料2：多治見市地域公共交通網形成計画令和4年度における進捗状況について（令和5年度10月時点）【協議事項】
- ・資料3：路線バス昼間上限運賃冷厳事業（200円バス）の継続について【報告事項】
- ・資料4-1：多治見市地域あいのりタクシーの運行状況について【報告事項】
- ・資料4-2：地域ありのりタクシーの運行状況について（R5.5）【報告事項】
- ・資料5-1：路線バスの現状について【報告事項】
- ・資料5-2：東濃鉄道利用人員推移【報告事項】
- ・資料6-1：多治見市地域公共交通計画の策定について【報告事項】
- ・資料6-2：多治見市地域公共交通計画の策定について【報告事項】

(敬称略)

## 1 事務局挨拶

- ・ (市長挨拶)
- ・ (委員紹介)
- ・ 欠席 1 名、代理出席 4 名で委員 16 名の出席により本会議は成立していることを報告。



## 2 副会長の選任

(会長指名で副会長として知原委員を選出)

## 3 会長挨拶

(会長挨拶)

## 4 中部運輸局岐阜運輸局支局より説明

(山田委員より「活発で良い議論ができる会議のために。」「乗合事業に係る協議運賃の取扱いについて」を説明)

## 5 議題

### (1) 自主運行バス中心市街地線宝町ルート of 運行経路の変更について【協議事項】

- ・ (資料 1: 自主運行バス (ききょうバス) 中心市街地線のルートの運行経路の変更を 事務局が説明)

#### 【決定事項】

##### ●議決

- ・ 自主運行バス中心市街地線宝町ルートの運行経路の変更について承認された。

#### 【意見概要】

##### ●意見

- ・ バス停新設に伴い、当該バス停に係る運賃収入が発生することになるが、令和 5 年 10 月の道路運送法改正により、協議運賃については別途協議会を設ける必要があるため、事務局にて調整いただきたい。

#### 【意見詳細】

##### ○山田委員

- ・ 金岡町 4 丁目のバス停新設により、そこに設定する運賃が発生するため、令和 5 年 10 月 1 日の道路運送法改正後の流れに沿い、協議運賃に関する協議会を別途設ける必要がある。その後の手法はご相談するが、意見公募、関係者間の書面会議などが方法として挙げられるため、事務局にて調整いただきたい。

##### →磯部会長

- ・ 今回の変更箇所は均一運賃の箇所になるため、本会議ではルートやバス停位置の承認になる。運賃については、事務局にて調整いただき、別途実施をお願いする。

##### →岩村委員

- ・ 10 月法改正を受けて、12 月 1 日のルート変更に関に合わせるのには厳しいのではないかと。運輸支局にて柔軟に対応していただきたい。

##### →山田委員

- ・ 本日の会議で状況は把握できているため、可能な限り対応する。

(次頁へつづく)

(2) 多治見市地域公共交通網形成計画の令和4年度における進捗状況について【協議事項】

- ・(資料2: 多治見市地域公共交通網形成計画令和4年度における進捗状況について(令和5年10月時点) を事務局が説明)

【決定事項】

●議決

- ・多治見市地域公共交通網形成計画の令和4年度における進捗状況について承認された。

【意見概要】

●意見

- ・特になし

【意見詳細】

○事務局

- ・本資料には記載していないが、燃料高騰による事業者への支援として、昨年度に燃料値上がり分の使用料(1年分)を補助させていただいた。今年度も燃料高騰が続いているため、昨年度に引き続き補助させていただくことを報告する。

○磯部会長

- ・可能であれば○の項目が増えると良いが、△の項目についても状況や原因を見ていただき良い方向に行くと良い。皆様からのご協力があれば助かると思う。

(3) 令和5年度「路線バス昼間上限運賃低減事業(200円バス)」の継続について【報告事項】

- ・(資料3: 路線バス昼間上限運賃低減事業(200円バス)の継続について を事務局が説明)

【意見概要】

●意見

- ・特になし

(4) 地域あいのリタクシーの運行状況について【報告事項】

- ・(資料4-1: 多治見市地域あいのリタクシーの運行状況について、資料4-2: 地域あいのリタクシーの運行状況について(R5.5) を事務局が説明)

【意見概要】

●意見

- ・補助金と利用回数が減っているが、事業者の負担を減らしつつ存続していただきたい。

【意見詳細】

○藤田委員

- ・現状、一定数の需要はあったと考える。予約が基本になっており、台数不足により利用者の皆様にご迷惑をおかけしている部分はあるが、運行させていただいている。運行時間が決まっているため、配車対応が難しい状況があることをご理解いただきたい。

○加藤委員(悠光クラブ)

- ・高齢者を中心にクラブ活動や町合同の行事を行う際、以前は乗り合わせて来ていただいていたが、高齢化により運転手が減り、乗り合わせる車の都合がつかない状況で困っている。この人の運転では不安という声もお聞きしており、1カ所に集まって活動することが難しい状況にある。

(次頁へつづく)

○諸星委員

- ・地域あいのりタクシーは近所で運行していないが、高齢化率が高く通勤や病院の予約時間など、それぞれで活動時間が異なるため乗り合わせることが難しい。バスの便数も減り、どうしても車が手放せない。誘い合っても運転が不安な方がいらっしゃるため、乗車する方も不安を感じて免許返納ができない状況にある。ご主人が返納後、奥さんが骨折し病院へ行くのに予約が取れないという声もお聞きする。返納後、出かける機会が減り認知症が進んでいる方もいらっしゃる。

○岩村委員

- ・地域あいのりタクシーの創設期を振り返り、タクシー事業を休業しているため非常に心苦しい思いだが、限られた台数の中で配車調整を行うことは非常に難しい状況にある。市民や利用者の皆様には事業者の努力で成り立っていることをご理解いただきたい。そんな中、利用者が減り補助金も減っていることになるため、事業者の負担を減らす方向で存続していただきたい。

→事務局

- ・これまで地域あいのりタクシーの改良を行ってきたが、これからも利用しやすいように、常に皆さまのご意見を伺いながら見直していきたいと考えている。

→知原委員

- ・予算枠は1団体40万円を限度としており、最大限予算を確保している。そんな中、コロナの影響により、ご家族以外との乗り合わせを控えられたという声もお聞きしている。今後は区長会への説明等を通して、地域主体のあいのりタクシー導入に向けて行政側も支援していきたいと思っている。利用状況の減少に関しては、通勤や通院などで利用が多い時間帯をずらして利用していただければ、事業者の負担が減り上手く回転できる。ドライバーの減少も問題となっているが、需要と供給のバランスで、利用が増えればドライバーも増えるのではないかと考えている。そうした施策も含めて継続していき、利用者を増やしていきたい。補助率に関しては、相乗りをしていただくことが目的のため、相乗りをしながら外出していただきたいと思う。

(5) 路線バスの現状等について【報告事項】

- ・(資料5-1:路線バスの現状について、資料5-2:東濃鉄道利用人員推移 を事務局が説明)

【意見概要】

●意見

- ・乗務員不足が進行しており、ドライバーの移住支援や免許取得支援を検討いただきたい。

【意見詳細】

○中嶋委員

- ・2024年問題により休息時間が8時間から9時間に改正される。休息時間を9時間設けるためには前日21時頃に終発を早めなければ、翌朝の通勤時間帯に運行できない。
- ・全国的に乗務員不足が進行しており、バスの減便やダイヤ改正が行われているところである。
- ・燃料高騰により市で支援していただいているが、日本バス協会からも全国各地で支援を要請している。
- ・本年10月より貸切バスの運賃が9年ぶりに改正され、25%の値上がりとなった。コロナの影響もある中、営業努力によりこれまで運賃改定を行わなかったが、待遇改善や様々な設備投資が必要となった。学校関係は既に契約済みだが、10月以降に新規で予算を立てられる方は、値上げ後の運賃になるため家庭への負担が増えてしまう。岐阜市では岐阜乗合自動車も路線バス運賃の値上げを申請されており、営業努力ではどうにもできない状況である。そうした中、中部地区におけるドライバーの就職合同説明会を名古屋で実施したが、予約数130名のうち岐阜県の応募者は僅か8名だった。ドライバーの移住支援や、大型二種免許取得補助もバス会社では限界があるため、そういった支援をお願いしたい。

(次頁へつづく)

(6) 多治見市地域公共交通計画の策定について【報告事項】

- ・(資料 6-1: 地域公共交通計画とは、資料 6-2: 多治見市地域公共交通計画の策定について を事務局が説明)

【意見概要】

●意見

- ・現計画における補助金と新たな計画における補助金の違いについて教えてほしい。

【意見詳細】

○岩村委員

- ・中小企業 1 社では何とかなるレベルではないため、行政など様々な方の力を借りなければならないという認識を持っている。先般の地域交通法改正において、公共交通のリ・デザインが掲げられており、補助金のメニューも掲載されている。令和 5 年 10 月の道路運送法改正で協議運賃の協議会について記載されているが、これだけの人数のスケジュールを調整することは難しいため、交通事業者を含めた分科会のようなものを立ち上げてはどうか。そこで協議をしないと一歩も進まないのではないかと感じている
- ・令和 5 年 10 月より改正地域交通法が施行されたが、地域公共交通計画の策定による各種補助金と、現計画における補助金とスキームを確認したい。

→山田委員

- ・これまでフィーダー補助は、計画での位置づけやその内容に関する記載を要件としていなかったが、次年度以降の計画では、計画の中にフィーダー補助を明確に位置付けないと補助が受けられない。そのため、計画に記載する内容によって補助が出るかが鍵になる。地域公共交通のリ・デザインの話に伴い、今後補助金の検討もなされていくと思うため、情報を皆様にも共有する。
- ・計画の整理は 6 月末までに行えば補助金が交付される。

→岩村委員

- ・地域公共交通計画のスケジュールでは、第 8 次総合計画との兼ね合いも踏まえ、2 月末の策定となっているのか。

→事務局

- ・第 8 次総合計画に加え、立地適正化計画とも整合を図る必要があるため、2 月末策定のスケジュールとしている。

→岩村委員

- ・地域公共交通計画に我々も乗っかり、国や市の力を借りながら進めていきたいという思いを持っている。ぜひ分科会など小さなことから進めていける仕組みを検討いただきたい。

→事務局

- ・第 8 次総合計画に関しても、公共交通が非常に重要であるという認識を持っている。現在、あいのりタクシーやよぶくるバスの地域内交通を導入しているが、今後地域に入り込み、本当の意味で使える公共交通を構築していく必要があると思っている。それらを踏まえて、他の計画とリンクを取りながら進めて参りたい。

→知原委員

- ・地域内交通は市民の関心も強く、アンケート調査を行うと改善に関する意見を一番いただいている。国の補助制度を有効活用していくために、この地域公共交通会議でしっかりと議論を行い新たな計画に盛り込むことで市民の足を担っていききたい。多治見市が進めるネットワーク型コンパクトシティは、国が推進しているコンパクト+ネットワークとは異なり、ネットワークが先に来ている。中心拠点から地域拠点への公共交通ネットワークを維持しつつ、地域内の使い勝手を良くするための新たな交通として、グリーンスローモビリティや自動運転バスについても考えていきたい。その上で市にとって何が必要か、次の担い手や地域の盛り上がりも考えつつ一緒に進めていきたいと思う。また、ご提案いただいた事業者の分科会についても取り組んで参りたい。

(次頁へつづく)

○磯部委員

- ・機動性を図るために事業者の方が集まり議論することは大変良いことだと思う。分科会を立ち上げる場合、規約を改定することがあるため、事業者ヒアリングを合同ヒアリングの形でうまく運用していただければ良いと思う。公共交通の供給不足は、水道における断水状態、電気における停電状態のように、社会インフラとして非常に危惧すべきことであるが、現実的に起こりかねない状況にある。経費が上がっていることに対して、全て運賃に転嫁するか、補助金を活用する仕組みを作るのか、そうした内容も新しい交通計画に組み込んでいただきたい。

4 自由討論

●事務局

- ・第8次総合計画では「コミュニティバスの検討」という形で見直しを行うことを考えている。コミュニティバスは、定時定路線のため常に中心市街地を運行している。中心市街地の活性化を高める意味で運行しているが、リ・デザインということで、本当に必要な部分などその意味についても考えていきたいと思っている。

【今後のスケジュール】

●事務局より今後のスケジュール

- ・第3回を12月に行う。
- ・11月頃に事業者ヒアリングを行う。市より詳細な日程をご連絡する。

-以上-

